



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠と擁壁をつくります

地元の声

・ 人家や避難所を守るために早急に対策をしてほしい（地元住民）

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 擁壁をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

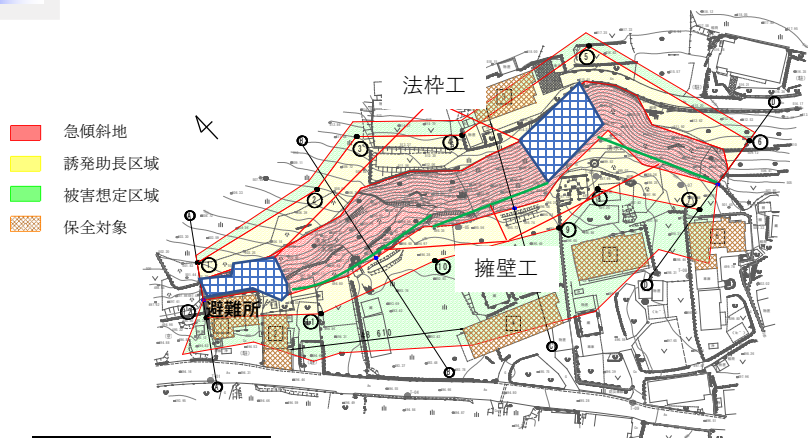
事業の概要

- 事業箇所：上野村新羽
- 事業内容：法枠工、擁壁工 延長107m
- 事業期間：令和3年度～

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地交渉を実施します。



R5実施箇所

事業のすすみ具合

